

2016年度 日本マスターズ水泳短水路大会 札幌会場開催のご案内

拝啓 札幌大会にお申し込みいただき誠にありがとうございました。

今回の参加チーム数、参加人数は、176団体、731人となりました。

さて、大会の詳細が決まりましたのでご案内いたします。各チームより、参加選手にご連絡いただきますようお願いいたします。大会運営に支障をきたさないように、また、競技時間を少しでも短縮する為、参加選手に競技の運営内容を熟知の上、ご参加いただくようご案内下さい。マスターズスイマーとして一人一人がエチケット・マナーを守るよう心掛け、参加者全員が快適に水泳を楽しんでいただけるよう、各チームにご配慮・ご協力をお願いいたします。 敬具

【会場案内】 所在地：札幌市豊平区平岸5条14丁目 TEL 011-832-7529

札幌市平岸プール(メインプール25m×8レーン×2アリーナ)

【日 程】 平成 28 年 5 月 29 日 (日)

開 場	7 : 30	公式スタート練習	8 : 30～8 : 50
開 会 式	9 : 15	競技役員打ち合わせ	8 : 00 講習室
A 面 競 技 開 始	9 : 30	チームリーダーミーティング	8 : 20 A面招集所
B 面 競 技 開 始	10 : 00	ウォームアップ・メインプール	7 : 30～9 : 00
B面競技終了予定	15 : 58	サブプール	7 : 30～競技終了まで
A面競技終了予定	17 : 16		※開会式時間帯を除く
リレーオーダー変更締め切り時間	メドレーリレー 10 : 00	フリーリレー	13 : 00

○ 館内およびアリーナ内は土足禁止です。選手の方は素足でご利用下さい。

○ 下足は、持参した袋に入れて各自管理して下さい。

【進行予定】 閉会式は行いません。

A 面			
1	女子	100m個人メドレー	8組 9 : 30
2	男子	100m個人メドレー	6組 9 : 51
3	女子	100m自由形	5組 10 : 05
4	男子	100m自由形	6組 10 : 18
5	女子	100m平泳ぎ	4組 10 : 30
6	男子	100m平泳ぎ	4組 10 : 43
7	女子	100m背泳ぎ	5組 10 : 53
8	男子	100m背泳ぎ	2組 11 : 07
9	女子	100mバタフライ	2組 11 : 12
10	男子	100mバタフライ	2組 11 : 19
11	混合	4×100mメドレーリレー	1組 11 : 24
12	混合	4×25mメドレーリレー	3組 11 : 31
休 憩			
13	女子	25m自由形	9組 11 : 45
14	男子	25m自由形	5組 11 : 55
15	女子	25m平泳ぎ	5組 11 : 59
16	男子	25m平泳ぎ	5組 12 : 04
17	女子	25m背泳ぎ	5組 12 : 09
18	男子	25m背泳ぎ	3組 12 : 16
19	女子	25mバタフライ	6組 12 : 19
20	男子	25mバタフライ	4組 12 : 25
21	女子	4×50mメドレーリレー	2組 12 : 29
22	男子	4×50mメドレーリレー	2組 12 : 39
23	女子	4×100mメドレーリレー	1組 12 : 46
24	男子	4×100mメドレーリレー	1組 12 : 55
休 憩			
25	女子	400m自由形	2組 13 : 05
26	男子	400m自由形	3組 13 : 21
27	女子	50m自由形	6組 13 : 43
28	男子	50m自由形	10組 13 : 52
29	女子	50m平泳ぎ	6組 14 : 04
30	男子	50m平泳ぎ	6組 14 : 14
B 面			
31	女子	50m背泳ぎ	5組 14 : 22
32	男子	50m背泳ぎ	3組 14 : 31
33	女子	50mバタフライ	5組 14 : 37
34	男子	50mバタフライ	5組 14 : 44
35	混合	4×100mフリーリレー	1組 14 : 51
36	混合	4×25mフリーリレー	4組 15 : 01
休 憩			
37	女子	200m個人メドレー	3組 15 : 15
38	男子	200m個人メドレー	2組 15 : 30
39	女子	200m自由形	3組 15 : 38
40	男子	200m自由形	2組 15 : 51
41	女子	200m平泳ぎ	2組 15 : 59
42	男子	200m平泳ぎ	2組 16 : 09
43	女子	200m背泳ぎ	2組 16 : 17
44	男子	200m背泳ぎ	2組 16 : 27
45	女子	200mバタフライ	1組 16 : 35
46	男子	200mバタフライ	1組 16 : 42
47	女子	4×50mフリーリレー	2組 16 : 49
48	男子	4×50mフリーリレー	2組 16 : 57
49	女子	4×100mフリーリレー	1組 17 : 04
50	男子	4×100mフリーリレー	1組 17 : 12
終了予定 17 : 16			
休 憩			
51	女子	800m自由形	2組 10 : 00
52	男子	800m自由形	4組 10 : 33
休 憩			
53	女子	1500m自由形	3組 13 : 00
54	男子	1500m自由形	3組 14 : 41
終了予定 15 : 58			

主催者・主管からのお願い

■ 競技進行上の注意

1 競技方法について

- (1) 競技は、2016年(一社)日本マスターズ水泳協会競技規則に則り行います。4月1日より競泳競技規則が一部変更になりました。選手は、後記の競技規則をご理解のうえ、出場をしてください。
- (2) 競技は、すべて男女別・年齢別のタイムレース決勝とします。
- (3) 年齢は、暦年齢(2016年12月31日現在の満年齢)とします。
- (4) 競技は、観客席から向かって右側のA面(25m×8レーン)と左側のB面(25m×8レーン)の二面で同時に行います。B面では800m・1500mの長距離種目のみを行い、招集場所もそれぞれに分かれておりますので自分の泳ぐ種目がA面かB面かをご確認の上、招集所へお越しください。
- (5) 25m・50m・100m種目及びリレー種目は、エントリーに従い男女別・年齢区分別に組み分けを行い高年齢から低年齢へ遅い組から速い組への順で行います。ただし、競技進行の理由により、一部複数の年齢区分で組み分けを行う組もあります。

その他の各200m・400m・800m・1500m種目は、年齢区分に関わりなく、男女別・エントリータイム順に組み分けを行い、遅い組から速い組への順で行います。

(6) リレーについて

- ① リレーオーダーの変更は、指定の用紙に必要事項を全て記入の上(プログラムNo、組、レーンも記入)変更締切時間までに、インフォメーションデスクへご提出ください。変更のない場合は提出の必要はありません。

No.11. 12. 21. 22. 23. 24 男女・混合メドレーリレー

10時00分まで

No.35. 36. 47. 48. 49. 50 男女・混合フリーリレー

13時00分まで

- ② 変更は1度のみとなり、年齢区分の変更はできません。
- ③ 同一リレー種目には、年齢区分に関わらず1人1回しか出場できません。
- ④ リレー種目の招集は、4名が揃わないと招集受付できません。
- ⑤ リレーの第2泳者以降で水中からのスタートを希望するチームは、必ずインフォメーションデスクにて指定の用紙で申告または招集所で申し出が必要です。許可なく水中からスタートするためにプールに入った場合、失格となります。なお、世界記録に挑戦するリレーチームはFINAのルールが適用されるため、第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録は認められません。

2 チームリーダーミーティングは、8:20～A面招集所にて行います。

競技上の注意事項や規則改定について連絡します。必ずチームの代表者1名が出席してください。今年度の規則改定について説明します。

3 ウォーミングアップについて

- (1) 時間は1頁をご覧ください。
- (2) メインプール(A面・B面)の水深は、1.4mです。右側通行を厳守し、お互い気を付けて行ってください。サブプールは水深1.2mです。
- (3) A面・B面とも、ウォーミングアップ(公式スタート練習を含む)終了まで、1～3レーンを女性専用とします。
- (4) A面はウォーミングアップ開始時より、スタートダッシュ専用といたします。いずれもスタート側からの一方通行とします。
- (5) 飛び込みの技術練習や安全な知識の指導については参加チームで行い、特に、初めての出場者は十分な配慮のうえご参加ください。

4 招集

- (1) 招集では、招集員に組・レーン・名前を自己申告し招集受付をしてください。この際に選手確認のため、IDカード(誓約書欄に署名が無い場合は無効)を提示してください。
- (2) 25m・50m・100m・200m・400m種目の招集はA面の招集所で、招集用の掲示板により競技開

始の20分前から行います。また、800m・1500mの長距離種目の招集はB面の招集所で行いますので、自分の出場する種目の2レース前までにお越しください。

いずれも、競技の進行をご確認のうえ、招集遅れのないように注意してください。

- (3) 招集所では「第〇組」と組が呼ばれます。ご自分の出場する組であれば招集員に「組・レーン・名前」を自己申告し、招集受付を済ませ、指示に従い並んでください。
ご自分の組とレーンは、忘れないように、また、間違わないように申告してください。
- (4) リレー種目は、出場者4人が揃わないと招集受付できません。4名揃ったら、泳ぐ順に各人が自己申告し、招集受付をしてください。
- (5) 招集受付を済ませないと、如何なる理由であれ棄権となり出場ができません。
- (6) 組み分けした種目で棄権者が多数出た場合は、前後の組と合同で競技を行う場合があります。

5 スタートについて

- (1) スタート前のメインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そのバケツで行ってください。
- (2) 前の組がスタートしたらスタート台の後ろに立ち、自分のレーンを確認してください。組・レーンを間違えると失格になります。
- (3) 新型スタート台を採用していますので、速やかにバックプレートの調整を行ってください。
- (4) 公式スタート練習は、8:30~8:50に行います。公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。
- (5) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタート、が許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお勧め致します。

6 プールの上がり方（競技はオーバー・ザ・トップで行います）

- (1) 個人種目の場合、ゴールタッチした選手は、レーンロープにつかまり次の組がスタートしてから横退水（1~4レーンは1レーン側、5~8レーンは8レーン側）してください。（自分のレーンからも可能）
- (2) 25m種目は、次の泳者がゴールタッチするまでに、速やかに上がってください。
- (3) リレー種目は、ゴールタッチした選手は競技役員の指示に従い、他の選手の妨げにならないよう、また、タッチ板に触れないようの注意してプールから上がってください。

7 申告が必要な方

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は、事前にインフォメーションデスクへ申告が必要です。

- ① 世界記録に挑戦する方
※ 世界記録に挑戦する方は、【8 世界記録申請および日本記録・世界記録該当者の水着着用について】を確認してください。
- ② テープ等をされる方
※ 本来テープは認められませんが、やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は使用状況を確認します。「出場申告用紙」を記入し、実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください。
※ 指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等は申告を行っても許可出来ない場合がありますので注意してください。
- ③ 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性がある方
※ 「出場申告用紙」にて申告してください。
※ エントリー時に申告している方は、再度申告の必要はありません。
- ④ 出場に介助が必要な方
※ 「出場申告用紙」にて申告してください。
※ チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は役員の指示を優先し介助してください。

⑤ リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム

※ 「出場申告用紙」にて申告、または招集所で招集員に申し出てください。

※世界記録に挑戦するチームの第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を突破しても世界記録の公認はされません。

8 世界記録申請および日本記録・世界記録該当者の水着着用について

世界記録の達成が予想される選手およびチームは、出場するレースの1時間前までに規定用紙に必要事項を記入のうえ、インフォメーションデスクへ申告してください。国際水泳連盟（F I N A）が認定している世界記録を突破した場合、その記録をF I N Aへ申請します。申請の際、計時員3名の測定が必要なため、インフォメーションデスクへの申告をもとに計時員3名を配置します。必ず申告をしてください。また世界記録が達成された場合、泳者の生年月日を証明する「パスポートのコピーまたは、住民票のコピー（3ヶ月以内のもの）」が必要となりますので準備してください。

世界記録のF I N Aへの申告にはF I N A承認水着の着用確認が必要です。世界記録を出す可能性がある選手はF I N A承認マーク付き水着の着用をお願いします。競技終了後、水着着用の写真を撮影します。また、世界記録申請用紙記入の際、水着のメーカー及び承認番号を記入してください。

日本記録に関しては、レース前及びレース終了後F I N A承認水着の確認をします。承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められません。

※2016年4月より、リレー種目（4×25mを除く）の第1泳者の新記録の申請が可能になりました。

世界記録に挑戦される方は必ず申告してください。

9 表彰について

(1) 出場選手全員に参加章および(一社)日本マスターズ水泳協会公認記録証を授与します。

(2) 個人種目、リレー種目とも各会場の男女別・種目別・年齢区分別の上位3位までメダルを授与します。ランキング発表後入賞者は、メダル受渡所にて各自メダルを受け取ってください。

その際、I Dカードまたはマスターズ登録カードを提示してください。

(3) マスターズ世界記録・日本記録を突破した選手には世界記録突破証・日本新記録樹立証を授与します。表彰は競技終了後、改めてプールサイドで行います。

(4) チームの代表者の方が、出場者のメダルを代わりに受け取ることはできません。

10 異議申し立て

競技開始前に判明した異議は、そのレースの出発の合図の前までに、審判長に文章にして提出してください。競技の失格内容や状況等に異議がある時は、そのレース終了後30分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料5,000円を添えてインフォメーションデスクに提出してください。抗議書の内容を大会総務で検討し裁定いたします。

なお、抗議の申請は、チームの責任者に限られます。（一般選手からの抗議の申請は出来ません。）抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料は返金しません。

その他、違反内容の問い合わせについては、規定の用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクに提出してください。

11 健康管理

(1) 参加者の健康管理は本人の責任とし、各自で十分留意してください。

(2) 各チームは所属する参加者について次のことを確かめてください。

a. 医師の健康診断または自己申告に基づいて健康に異常がないこと。

b. 競技会当日より前1ヶ月間、週1回以上の水泳練習を行っていること。

c. 会場における事故等については、すべて参加者側において処置してください。（応急処置は行います）

d. 「マスターズ水泳キーワード9」をよくご理解のうえ、参加してください。

(3) 大会期間中、医師・看護師より出場停止が勧告された場合は、その指示に従ってください。

12 貴重品の管理

貴重品は、個人またはチームで管理してください。選手控え室・観客席・プールサイドに小銭入れ

・カードケース・携帯電話を入れた袋を放置したままウォーミングアップを行い、その間に盗難に遭うケースがよくあります。仲間同士で管理しあうようにお願いします。

13 IDカードについて

- (1) 二次要項同封のIDカードの誓約書欄に必ず署名してください。署名が無い場合は招集が受けられません。また、裏面の大会当日緊急時の連絡先の記入も忘れずにお願いします。
- (2) 大会当日IDカードを紛失および忘れた場合は、会場のインフォメーションデスクにて再発行手数料500円を支払い、再発行を行ってください。

14 カメラ・ビデオ・携帯電話機での撮影許可について

撮影許可証なしでカメラ・ビデオ・携帯電話による撮影をすることは出来ません。

選手・応援者の方で、カメラ・ビデオ・携帯電話での撮影を希望される方は、事前の配付された撮影許可申請書に必要事項を記入のうえ正面玄関受付に提出し、撮影許可証（カード）を受け取ってください。

この際、撮影許可証（カード）は保証金1,000円と引き替えになります。なお、お帰りの際、撮影許可証（カード）と交換で保証金1,000円を返却致します。

撮影許可証は、必ず競技役員や警備員から見える場所に付けてください。許可証を付けずにカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影をしている不審者を見かけた場合は、近くの警備員、競技役員へご連絡ください。また、撮影許可証があっても、アリーナ内での撮影はできません。

15 会場内での撮影について

競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いいたします。

また、会場BGMをそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。なお、撮影許可証は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。

16 施設利用の注意事項

- (1) 更衣室・選手席
会場の出入口は、正面玄関のみとなります。選手席は2階観覧席のみで、更衣室は1階となり、アリーナへの出入りは更衣室からとなります。観覧席からアリーナへ降りることはできません。
- (2) アリーナ・更衣室は履物禁止となります。アリーナへ入場の際、必ず素足になり履物は各自袋に入れてご利用ください。
- (3) 会場内での飲食は観覧席でお願いします。アリーナ内および更衣室内での飲食は禁止です。
- (4) 指定された場所以外への立ち入り、付属施設・備品などを無断で使用しないでください。
- (5) ゴミは、各チームで持ち帰ってください。必ずゴミ袋を持参してください。
- (6) 施設内は禁煙です。喫煙は所定の場所で行ってください。
- (7) **参加者用の駐車場はありません。お車でのご来場は禁止します。**

17 チーム受付は、各チームの代表者が行ってください。競技開始前に正面玄関受付で、チーム受付票を提出してください。参加章・プログラム（予約クラブのみ）・公認記録証をまとめてお渡しします。

18 競技結果は、男女別・年齢区分別に公式掲示板（館内2階ロビー）に発表します。

19 大会当日緊急時の連絡先について

申込時およびIDカードに記入の大会当日緊急時の連絡先については、事故・怪我の発生など万が一の際に使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チームの責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。

※ 緊急時連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号のことです。

- (1) 責任者が会場へ同行される場合
出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。
- (2) 責任者が会場へ同行しない場合
大会当日、緊急時の連絡先についての問合せをした際に伝えられるよう準備してください。

■ その他

- (1) ランキングは、後日、申し込まれたチームへ送ります。
- (2) リレーオーダー変更用紙・棄権の申出用紙は、コピーしてご利用ください。
- (3) 競技役員が着用する、オリジナルTシャツは当日会場で販売いたします。出場記念に是非お買い求めください。
- (4) 大会当日、天変地異や天候条件等によりやむを得ず大会が中止となった場合は、「参加章(バッジ)」「プログラム(申込分)」はチームへお渡しいたしますが、エントリー料は返金できません。

■ 個人情報および肖像の取り扱いについて

(一社)日本マスターズ水泳協会(本協会)の主催する公式競技会および公認する競技会にあたり本協会競技者登録・競技会参加要項を通じて取得する個人情報ならびに肖像の取り扱いについては以下のとおりです。

- (1) 個人情報
 - ・プログラム、ランキング作成を含む競技運営に使用します。
 - ・競技結果としてホームページ、ニュース等の媒体に使用します。
- (2) 肖像
 - ・大会報告としてホームページ、ニュース等の媒体に使用します。
 - ・マスターズ水泳の普及活動のために各種媒体に使用します。
 - ・大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は本協会に帰属します。

■ (一社)日本マスターズ水泳協会競泳競技規則(抜粋)

- (1) 出発について(背泳ぎを除く)
 - a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。
 - b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。
 - c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁につける。
- (2) 背泳ぎについて
 - a. 競技中は、泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間、およびスタート後、折り返し後の壁から1.5m以内の距離では、体は完全に水没していてもよいが、壁から1.5mの地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。
 - b. 折り返しの動作中は、肩が胸の位置に対して垂直以上に裏返しになってもよく、その後は折り返しを始めるために、速やかに一連の動作として、片腕あるいは同時の両腕のかきを使用することができる。
- (3) 平泳ぎについて
 - a. スタートおよび折り返し後の一かき目は、完全に脚のところまで持って行くことができる。その間泳者は水没状態であってもよい。スタート後、折り返し後に、最初の平泳ぎの蹴りの前にバタフライキックが1回許される。
 - b. 折り返しおよびゴールタッチは、両手が同時にかつ離れた状態で行わなければならない。タッチは水面の上下どちらでもよい。折り返しおよびゴールタッチ直前は足の蹴りにつながらない腕のかきだけになってもよい。
- (4) バタフライについて
 - a. 全ての足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。
 - b. 折り返しおよびゴールタッチは、水面の上もしくは下で、両手が同時に、かつ離れた状態で行わなければならない。
 - c. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回のキックと一かきが

許される。スタートおよび折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15m地点までに頭は水面上に出ているなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールタッチまで体は水面上に出ているなければならない。

(5) 招集について

競技者は、競技会の主管団体が公表した招集の要領に従い、出場前に出場の確認または点呼を受けなければならない。また、公表された組・レーンで出場しなければならない。

(6) 競技終了後の退水について

泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他妨害行為をした場合も失格となる。

(7) リレー競技の第1泳者の記録について

4×25mのリレー競技を除き、リレーの第一泳者の記録は新記録に申請することができる。

(8) 水着の規定について

競技会で着用できる水着は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。